

つつじヶ丘だより

主幹 西高3同窓会 関西支部

第三十二号

令和4年度号 (10月10日発行)

ご挨拶

つつじヶ丘同窓会関西支部

会長 中谷 基 (西高20回生)

三年前の総会の後、新型コロナウイルスの蔓延で全国的に活動を自粛せざるをえない状況になりました。

その時の総会において会長を仰せつかった訳ですが、なにをするでもなく本部や各支部の会報に掲載する原稿を書いたりするのが唯一の任務でした。

今年ようやくコロナ禍も下火になった感があり、六月になつてから幹事会を行うことが出来ました、その席でなんとか今年は総会、懇親会をやりたいと言う事になり十一月二十七日に京都にて開催する運びとなりました。

つつじヶ丘同窓会の関西在住の会員におかれましては、万障お繰り合わせの上是非ともお集まりいただき親交を深めたいと思っております。また、ご高齢の諸先輩におかれましてはご体調の許す限りお越しいただきご指導をお願いしたいと切に願っております。

また、社会状況が許す限り二年ごとに開催場所を変えて総会、懇親会の開催に努めてまいりたいと思つ

つつじヶ丘同窓会
関西支部発行
連絡先: 075-323-6633
E-mail address:
office@td.kansai.ne.jp
URL: <http://td.kansai.sakura.ne.jp>

特別企画

ておりますので会員諸氏のご協力を重ねてお願い申し上げます。

『つつじヶ丘同窓会』関

西支部(関西つつじヶ丘同窓会)あるいはその前進の同窓会に入会した頃」と題して、毎号2名から3名の会員に順次原稿を依頼して掲載するものです。本年度はその5回目です。本年度につづき来年度以降も順次原稿執筆をお願いいたしますので、よろしくお願い申し上げます。

なお、原稿執筆要領は本会報のP4に示しております。ふるつてご応募ください。

本号では、長澤清司、田端冴子、中村浩の三名の原稿を掲載いたしました。

『つつじヶ丘同窓会』関西支部(関西つつじヶ丘同窓会)あるいはその前進の同窓会に入会した頃』

その5

61年ぶりのメンバー入り

長澤 清司 (西高3回生)

平成30年7月に14回目の引越で静岡から京都に転居しました。この年は今年以上の暑さで、日記を繰ってみると7月24日まで14日連続の猛暑日とありました。

実は、売却した旧宅の引き渡しを急がされた上に新宅の手直しが遅れ、宿なしになってしまいました。やむなく家財を静岡の倉庫に置いたまま京都に移り、一ヶ月近くウィークリーマンションで過ごしました。五条通りに近い「天使突抜」と面白い名の町でした。折

しも「祇園祭り」でしたが、離れた町では静かなものでした。ただ風が通らず一晩中クーラーを付けっぱなしで寝たのは初めての経験でした。

8月20日入居しあれこれ片付けて9月にやっと転居通知を出し終えたら、富士昭一君が早速電話をくれ、続いて中村会長から「秋の遠足」の案内を頂きました。箱根以西が関西支部と言うことなら、61年ぶりにやつとメンバーになりました。

11月2日、平城京址への遠足で皆様にお目にかかりました。翌年1月に梅田で新年会、年号が令和に変わった11月新大阪で関西支部総会に参加しました。京都に住んでたつぷり観光するつもりでしたが、2年1月に中国武漢で新型コロナウイルス、2月に横浜でD・プリンス号の集団感染、3月に京都産業大学でクラスター発生と続き、大波小波がもう第7波、まったく先が見えません。文字通り蟄居させられています。

私の兄弟4人と母親、それに叔母と従兄弟を数え、9人が同窓会名簿に載っています。

私は昭和32年に大学を卒業して東亜合成に入社。名古屋、坂出、徳島、川崎と工場を廻り歩きました。社宅ですが引越しがついて回りました。平成8年、川崎勤務の時、東京支部の会に参加しました。初めは恵比寿のサッポロビール、その後は目白の椿山荘が定席になりました。東京支部はさすがに大人数で、元応援団の応援歌や元高女の小母様方の校歌斉唱など芸達者が揃っています。甲子園に出た橋本、渡部、太田の時代を思い浮かべました。

平成10年、定年前の非常勤役員になった時、静岡に家を持ちました。長男が静岡で教員をしているのと、兄弟3人と父親が住む東京に少しでも近くと思つて、22年間の東京支部でした。

少し外れますが東京では西高3回生の会(三喜会と

います」があり、忘年会やバス旅行を楽しみました。また、「東川会」(今は廃校になった東川小学校の同窓会)では「みなとおどり」が定番でした。昔に帰って足取りが軽くなるのは不思議です。

いつまでも若々しくありたいと思いますが、この9月で88歳です。一昨年12月大腸に出血があり、内視鏡でクリップ止めしました。その後の所見で先生が「見る範囲で10個近いポリープがあり、これは6、7年後にガンになる。貴男は年の割には若くは見えるが、ハテ、どうするかね」と。ガンと老化とどちらが早いかなんて、返事に困りましたが、1年間様子を見た後、今年5月に京大病院で4個切除しました。コロナ騒ぎの最中に入院で不自由しました。このまま、米寿、卒寿と過ぎると父の年(96歳)に近づいてきますが、思うだけで難儀なことです。

本当は京都のことを書きたいが、ネタが乏しく申し訳ありません。すべては、「コロナ禍」です。

京都在住半世紀余りと高校時代の思い出

田端 冨子 (西高14回生)

関西函館西高つつじヶ丘同窓会に初めて参加したのは今から二十六・七年前頃だったように思われます。函館をおもう会が先だったかどうかその辺はさだかではありません。初めの頃は高女出身のおば様方が多く参加なさっていて、おもう会と両方に参加されていた方が多くいらつしやったようです。会長も確か桜井先生でしたかはつきり覚えていません。おもう会と混同しているような気がします。私が西高の同窓会というものが関西にあると認識したのは、昭和39年に京都へ来て下宿していた銀閣寺の伯母が同窓会へ参加していたことと、その何人かのお友達が家にも来ていた事がありその都度西高出身のめいだと紹介され

ていたからです。私も西高出身なのに何故一緒につれて行ってもらえないのか不思議で尋ねた事がありました。その答えは西高の男の子が数名来ている位でみな庁立高女の人達ばかりだからという事でした。いま思えばその数名の男の子たちや(大正の初めの頃の生まれ年の)伯母からみたら私なんかはほんの18歳でしたから参加資格等なかったのでしょう。その男の子たちは誰だったか知りたいです。一泊で楽しんでみたよ

うで、一度私は東山にある霊山観音の近くの宿にむかえに行つた事も記憶にあります。もし私が18歳の大学生の時に参加していたらすごい古株になっていた事でしょう。

西高といえばあの素晴らしいロケーションにつきます。私は幼稚園も西高の隣にある遺愛幼稚園に通園して6歳の子供には銀座通りの家との往復するのは大変でした。高校時代を含めると計5年間も同じ道を通つたことになりました。体育の時間には函館山の中腹にあるグラウンドまで行つたことも今ではなつかしい思い出となつています。

西高の思い出は沢山ありますが3年間を通じて情熱を傾けたのがクラブ活動です。当初は同好会でしたが私が会長になってクラブに昇格



できたことは今も忘れることが出来ません。“郵便友の会”と言ってあの頃は“文通”によって世界の平和とか友情とかを結ぶというもので全国の郵便局が後援していました。そこで、その会議室に各高校のメンバーが集まり会議を開いたり、女の私が函館の代表として全国大会に出席したり大変貴重な経験をさせてもらいました。北海道からは札幌、函館、帯広の三都市から長野県の軽井沢に集まりました。市中パレードとか楽しい思い出になっています。毎年全国からの高校生が一同に会しあのような催し物をしていただいたのはやはりバックに郵政省があったからでしょうか。そのおかげで京都に来てからも京都中央郵便局で内勤のアルバイトもさせてもらいました。現代では携帯電話とかラインとか便利になった世の中、文通なんて死語になってしまったのでしょうか。いつ頃まで続いたのか、どういう風に終わったのか知りたいです。

私のおこづかいは切手代でほとんど消えてしまいました。十三カ国間英語手紙を遣り取りして、クリスマスになると船便でプレゼントの交換等、ずい分お金も使いました。今でも友達に会うと「数学の時間に英語やつてたね」と言われます。そのおかげで数学で一度赤点を取り大あわてしたこともなつかしい思い出になっています。とにかく高校時代は英語を話すことが楽しく、よく港に入るアメリカ船の乗組員と友達になり家に連れて来てごちそうしたり、母はいつも私の行動にびつくりしていました。その中の一人は私が京都に来てからも文通が続き再開することができ、伯母の家に一週間程泊つていきました。おかげで英会話は自然に身についたのですが(仕事もホテルのフロント係りを二カ所経験)、今ではすっかり話せなくなりしました。西高3年間の思い出をあれこれと書き綴ってみました。もう60年程前の話です。

関西つつじヶ丘同窓会に入会して、はや45年

中村 浩 (西高9回生)

それは1975年(昭和50年)秋も深まった頃であった。その年の6月からアメリカ合衆国セント・ルイスに出張留学していた。その留守宅の管理を頼んであった義理の母から一通の航空便が届いた。そこには一通の絵葉書が同封されていた。差出人は石原正さん(西高5回生、後に関西支部第4代目会長)で内容は、数年前から高女の関西支部同窓会と合同で会を開いている、西高卒の同窓生が少ないので同窓会名簿を頼りに勧誘を始めている、ぜひ参加をとのことである。絵葉書の図は鳥瞰図で、ちょうど北大阪急行の千里中央駅から私の住んでいた公団住宅までが入っている構図になっていた。後に聞いたところでは宛先がうまく図にハマったものがあるとそれを選んで送っていたとのことである。石原さんは70年の万博のガイド・マップの作者であつたことを義理の母は知っていたとのこと。曰く、「浩さんの近くにこんな文化人の先輩がいるなんて」とのこと、来年以降の帰国を待たずにわざわざアメリカまで送ってくれたようである。

帰国した1976年(昭和51年)あるいは1977年の秋に開催された総会・懇親会に初めて出席した。会場は上本町6丁目の近鉄大阪上本町駅の近くで当時の谷町荘、現在のホテルアウイナで庭に面した和室であった。出席者は約60人程で、西高同窓生は10人以下、残りは高女および女子高の同窓生であった。会長は寺村初瀬さん(高女11回生)で戦前から関西すずらん会の会長をされていて、石原正さんが中心となつて開いていた関西西高同窓会と合同の後、会長に就任されたとのことである。その時の出席者のうち私が最少年者であつた。自己紹介の段になって、寺村会長がやおら口を開き「英語で御挨拶してみて」との

仰せ。ここで私も保護回路がすぐさま働き、とんだ会合に紛れ込んだなと思いつつ、軽くなして切り抜けた。もし、寺村会長の口車に乗っていたら、会長だけが益々ハイ(Be on a high)になり、他の出席者全員が白けることは明白である。かなり後になって聞きしたところによると、会長は当時大阪地裁でのボランティアの調停員の傍ら、ご自宅に留学生を下宿させてりしていたとのこと。英会話に堪能だったので試してみたかったのかも知れない。

寺村会長、出崎会長の時代には、忙しさもあつてあまり出席率はよいほうでなかった。特に秋は学会の時期に重なった。その頃は桜井佳子先生、小林友子さん(共に高女37回生)、石原正さんほか数名の方々が毎年秋に開催される総会の会場探しや案内状の発送などされていた。私も桜井先生の第3代会長就任前後から不定期刊行物の会誌の印刷などお手伝いをするようになった。桜井会長の就任時に会誌を定期刊行することとなり、それが現在の「つつじヶ丘だより」として続いている。当時は今のようなパソコンは普及しておらずもっぱら東芝やシャープ製のワープロで原稿を活字化したあとと謄写版の親玉の様なリソグラフィ等で印刷した。

下記に示したイラストは石原正さんの手になるもので、1994年の会誌に掲載された。「編集後記にかえて」に合わせて軽妙なイラストを書いて下さった。また、横長の構図は原稿募集の広告である。手書きの文字は何ともいえない絶妙な味わいがある。郵

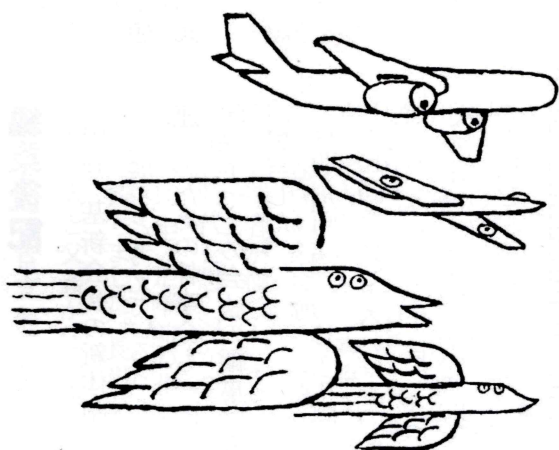
便番号と電話番号を手直しすると今でも使えるところである。彼からは会誌の編集技法を教わった。会誌の

関空雑感・・・編集後記にかえて

この九月四日に関西空港が新たに開港された。大阪府では、この新関西国際空港を「関空」というのは「KANQ」と略称を使用して、前宣伝を繰り返していた。それに乗せられてと言う訳でもないが、函館に住んでいる私の母が、所用があり丁度大阪に来るので、函館に帰る日を関空開港初日に設定し旅行業者に航空券を手配しておいた。券はうまく手に入ったが、添え書きが付いていて、「開港初日は搭乗者のみしか空港ビルに立ち入ることができない」とのこと。一緒に見学に行く予定の小2の次男は、がっかり。致し方なく、私だけが見送りに出かけた。今までの伊丹空港に比べると、私の住んでいる千里地区からは非常に不便で、益々、函館も遠くなったとの感を強く持った。当日、只一つのおまけは年老いた母と一緒に搭乗した為、警備の機動隊長の計らいで搭乗券も空港関係のIDカードも持たずに入場できた。そのおかげで、母を送りだした後、ゆっくり空港ビル内を見学する事ができた。(西高9回生、中村浩 記)

最後に、原稿をお送り下さいました同窓会会長藤岡様はじめ皆様に感謝いたします。

(編集幹事、石原、中村)



原稿をお寄せください!!

◎内容はこだわりません
◎400字詰で4枚以内

先着順!!

送付先 〒565 豊中市緑丘5-7-14
中村 浩

TEL・FAX 06-852-8274.

編集からは一時期離れていたが、ここ 10 年ほどは会誌の編集を担当させて戴いている。

令和3年度収支会計報告

自 令和 3年4月 1日
至 令和 4年3月31日

収 入	金額	支 出	金額
令和 2 年度からの繰越金	265,349	原稿依頼通信費 礼状 郵送料など (計6通)	853
同窓会本部からの補助金	30,000	レンタルサーバー ライト サービス利用料	1,901
受取利子	2	会誌「つつじヶ丘だより」600部 印刷代	11,800
		会誌送送料 57通 (定型 @ 84x16, @ 94x41通)	5,198
		会誌送料 同窓会本部へ 520+370、	1,630
		東京・札幌支部へ @370x2	
		令和 4 年度への繰越金	273,969
収入 計	295,351	支出 計	295,351

本会記事

《3年度は総会開催中止となる》

昨年度、令和3年(2021年)度は2年毎の総会・懇親会の開催される年度に当たっていた。しかしこの長引くコロナウイルス禍で開催中止となった。

本年令和4年度は総会を開催する。左記の囲み記事をご覧ください。コロナウイルスが蔓延しないことを切に望むものである。

会の運営に関しては幹事会をスリムにし、中谷新会長を中心に新体制で臨むことが提案されている。若い新会員の入会が会の発展の鍵をにぎっている。

《幹事会より》

令和3年(2021年)4月から令和4年(2022年)3月までの会の主な活動は会誌「つつじヶ丘だより第31号」(10月10日発行)の編集・発行・送付を行ったことである。

「つつじヶ丘同窓会」関西支部

総会・懇親会 開催のお知らせ

日時: 11月27日(日) 13時 (12時半 開場)
会場: 東華菜館 京都市下京区四条大橋西詰

TEL 075-221-1147

阪急京都河原町駅 1番B出口より徒歩すぐ
京阪本線祇園四条駅 3番出口より徒歩すぐ

連絡先: TEL 090-3167-2085 中谷 基

編集後記

中谷 基 新会長の新体制のもとで関西支部も新たな発展を考えているうちに、コロナウイルス禍騒ぎで連絡のための幹事会も一度しかも持てなかった。この状況下でこの会誌の編集は取りあえず、中村、小林が担当した。

特別企画『「つつじヶ丘同窓会」関西支部(関西つつじヶ丘同窓会)あるいはその前進の同窓会に入会した頃』も、今年で5年目に入った。会員の皆様には、順次執筆を依頼するので、よろしく。その他、随想などの投稿をお待ちしている。

シリーズで連載中の『「つつじヶ丘同窓会」関西支部(関西つつじヶ丘同窓会)に入会した頃』にぜひご応募ください。

執筆要領は、左記に示しました。

連絡先: E-mail: hino@osaka.zaq.jp または電話
06-6866-28274 または090-6235-8274
原稿執筆要領:

- ① 「関西つつじヶ丘同窓会」の総会に初めて出席した時期はいつ頃ですか。具体的にお書き下さい。(昭和・年、昭和・年頃、など。西暦でもかまいません)
- ② そのきっかけは、どんなことでしたか。
- ③ 会長は、どなたでしたか。
- ④ その頃の思い出をお書き下さい。(この会に出席した時の感想、思い出話など、何でも結構です)

右記の質問に沿って、箇条書きにしたもの、あるいは、全体をまとめた文章でも結構です。文字数は問いません。